

第4章 教育・文化・スポーツ 第3節 青少年育成

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響	
			会計	投入コスト		活動実績(H30)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの		
青少年課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	作文応募数は、年によって変動はあるが、概ねそれなりの応募数はあったと考えている。	H30年度に改善した点 本年度、会場が変わったこともあるが、表彰式開催のポスター掲示を行ったことや、市民会議委員の表彰式参加の呼びかけ等により、表彰式当日、会場は人で概ね埋まっていた。	無	無		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	330千円	295千円	①小学生作文応募数 ②中学生作文応募数 ③	対象児童生徒数に対する作文応募数の割合	家庭の日を認識してもらうことを目的に作文を募集しているため、その応募数を指標とする。								
	根拠法令	H30予算現額	H30決算額(見込み)	330千円				268千円							
	「家庭の日」推進事業	特になし	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	実績	H29年度目標	H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析 H30目標値が未達成の理由・分析							
	事業の目的及び具体的な内容	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	0.24人		5%	4.3%								
期間	昭和48年度～	青少年を健全に育成するための最も重要な基盤である家庭を改めて認識する「日」を設定し、家庭における青少年健全育成への啓発を図る。 市内小学校3年生から中学校3年生を対象に、家庭を基盤として青少年が未来に向けて考えていること(夢・希望・提案)をテーマとした作文を募集し、優秀作品を選考して、優秀者の表彰を行う。	2,036千円	0.16人	①152件	H30年度目標	H30実績	小学生・中学生ともに、昨年度より応募数が減少した。 小学生の減少率の方が大きい。							
			0.25人		②599件	R元年度目標									
			2,095千円	0.15人	③	4.0%									
青少年課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	本団体は、本市の青少年健全育成にかかる中心的役割を担っている団体であり、歴史も古く、市全域への影響が大きい。 歴史を重ねる各スポーツ大会の実施やふるさと意識の醸成に資する「所沢郷土かるた」を用いた事業など参加者も多く優良な事業を実施するほか、青少年の非行防止・健全育成を目的に街頭啓発活動を中心になって実施するなど、本市の青少年健全育成に大変貢献している。 今後も交付金の補助額は維持しながら、市は同団体と連携して青少年健全育成に取り組むたい。	H30年度に改善した点 組織の活性化を図るために部会や規約の見直しを行った。	無	無		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	5,850千円	5,850千円	①スポーツ大会・家庭の日・非行防止等の青少年健全育成に係る事業の年間実施数 ②	青少年の非行防止・健全育成を目的に各種事業を行うので、代表的な事業であるスポーツ大会への参加者数を指標とする。	青少年の非行防止・健全育成を目的に各種事業を行うので、代表的な事業であるスポーツ大会への参加者数を指標とする。								
	根拠法令	H30予算現額	H30決算額(見込み)	5,850千円				5,850千円							
	青少年育成所沢市民会議交付金	特になし	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	実績	H29年度目標	H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析 H30目標値が未達成の理由・分析							
	事業の目的及び具体的な内容	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	0.12人		4,000人	3,093人								
期間	昭和48年度～	青少年健全育成団体の連絡調整を図り、総合的の事業の企画を遂行する青少年育成所沢市民会議に対し、その財源として補助を行う。 広報活動、かるた大会、街頭キャンペーン、各種スポーツ大会等の実施のほか、地域青少年育成団体の活動費の交付や青少年健全育成事業への助成を行っている。	1,018千円	0.02人	①26件	H30年度目標	H30実績	三道・バスケ女子・卓球の参加者が減少している。							
			0.09人		②	R元年度目標									
			754千円	0.05人	③	3,000人									
青少年課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	青少年健全育成の実現には、継続的に啓発活動を行うことが効果的であり、全国的に展開する強調月間に合わせて本市の青少年健全育成に関わる各団体の協力を得て活動を行うことは、大変有意義で効果があると考えている。	H30年度に改善した点 啓発グッズの袋詰めの一部を、「しょうがいしゃチャレンジオフィスわくわく」を活用して実施した。	無	無		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	400千円	366千円	①街頭啓発活動に協力した延べ団体数 ②街頭啓発活動に参加した延べ人数 ③街頭啓発活動に参加したジュニア推進員の延べ人数	青少年の非行・被害防止、また健全育成を目的に街頭で啓発活動を行うので、啓発物の配布数を指標とする。	青少年の非行・被害防止、また健全育成を目的に街頭で啓発活動を行うので、啓発物の配布数を指標とする。								
	根拠法令	H30予算現額	H30決算額(見込み)	400千円				361千円							
	青少年健全育成広報・啓発活動事業	特になし	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	実績	H29年度目標	H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析 H30目標値が未達成の理由・分析							
	事業の目的及び具体的な内容	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	0.22人		3,000個	3,000個								
期間	平成10年度～	青少年が新たな社会の担い手として、非行に陥ることなく、豊かな個性と能力を持った人間に成長する社会環境を地域社会が主導して創っていくよう、市民全体に呼びかける。 青少年の非行・被害防止及び青少年健全育成に係る街頭啓発活動を市と青少年育成市民会議の主権により、関係団体の協力を得ながら実施する。	1,867千円	0.16人	①74団体	H30年度目標	H30実績	目標達成済							
			0.25人		②291人	R元年度目標									
			2,095千円	0.15人	③12人	3000個									

第4章 教育・文化・スポーツ 第3節 青少年育成

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費		成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響				
			会計	投入コスト	活動実績(H30)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの			
青少年課	実施計画ランク	事業の種類別	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	経験豊富なガーディアンエンジェルズメンバーが所沢駅周辺を週末定期的に巡回して、青少年に対する声掛け等を実施することは、街の風紀維持に大変効果があると考えられている。 また、青少年育成推進員の研修の一環として、推進員がパトロールに同行して活動のノウハウについてレクチャーを受けるなど、青少年団体への好影響も大きいと考えている。	H30年度に改善した点		無	無	
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	1,439千円	1,439千円	①ガーディアン・エンジェルズ延べ活動人数	商店街の巡回回数	所沢駅周辺の環境浄化を目的としているので、その巡回回数を指標としている。	H30目標値が未達成の理由・分析			前年に引き続き、青少年育成推進員の研修の一環として、夏休み前にガーディアンエンジェルズの活動に同行して、パトロールを体感した。				
	ふれあいタウン事業	根拠法令	H30予算現額	H30決算額(見込み)				②			H29年度目標	H29実績			H30目標値が未達成の理由・分析
		特になし	1,439千円	1,439千円	③	H30年度目標	H30実績	基本、所沢支部の1名が街頭活動を行っているため、事情により実施できない場合もある。			報告内容を市関係課に送付するなどして、さらに環境浄化に努める。				
		事業の目的及び具体的な内容	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	実績	R元年度目標					評価者				
		非行行為を青少年の問題としてだけでなく、地域社会全体の問題として捉え、青少年が非行に巻き込まれるような状況の抑止対応、また所沢駅周辺の環境浄化を目的とする。 所沢駅周辺を週末定期的に巡回して、青少年に対する声掛け等を行う事業を日本ガーディアンエンジェルズに委託して実施している。	0.13人	非常勤特別職		52回	52回				青少年課長 森田茂明				
期間	平成15年度～	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	①83人	H30年度目標	H30実績									
		0.09人	非常勤特別職	②	52回	49回									
		754千円	臨時職員	③	50回										
青少年課	実施計画ランク	事業の種類別	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	限られた人員の中で、自主事業等を着実に実施して、青少年の健全育成に貢献していると考えられる。	H30年度に改善した点		無	無	
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	72千円	72千円	①活動実施回数	相談員の登録人数	青少年相談員の数の増加が活動の活性化につながり、ひいては青少年の健全育成に資することから、相談員の数を指標としている。	H30目標値が未達成の理由・分析			人員の確保に苦勞していることから、市のホームページにも情報を掲載している。				
	青少年相談員協議会補助金	根拠法令	H30予算現額	H30決算額(見込み)				②自主事業参加のべ人数			H29年度目標	H29実績			H30目標値が未達成の理由・分析
		埼玉県青少年相談員設置要綱・所沢市青少年相談員設置要綱・所沢市青少年相談員協議会補助金交付要綱	72千円	72千円	③	H30年度目標	H30実績	新任相談員がいない。			高校生のスタッフを含め、事業に関わる人員の確保が課題と考えている。市や関係機関の広報誌などの活用により周知を図りたい。				
		事業の目的及び具体的な内容	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	実績	R元年度目標					評価者				
		地域社会において、友愛精神をもって青少年に接し、その相談相手となり、助言活動を行い、健全な青少年育成に資するために、補助金を交付している。 当該団体は、レクリエーションやキャンプなどの活動を通じて、学校や学年を超えた仲間づくり、リーダーを含めた異年齢同士の交流を目的に事業を実施している。	0.16人	非常勤特別職		10人	11人				青少年課長 森田茂明				
期間	昭和40年度～	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	①12回	H30年度目標	H30実績									
		0.12人	非常勤特別職	②82人	10人	7人									
		1,006千円	臨時職員	③	10人										